

「越中橋から見るお月見の会」開催趣意書

土佐堀第一振興町会
会長 尾松正章

本町会は江戸堀連合振興町会内にあり、「明るく住みよい町」の維持増進に努めてきております。

本町会は、町会員世帯数350世帯、企業会員20社ですが、約33年前からワンルームマンションなど町会未加入者も増加してきており、その数約220室にもなっています。

以前は、子どもたちも多く居て、町会の小運動会を花乃井公園で開催でき、町会全体が活き活きとしていました。しかし、約30年ほど前に小学生が5人しか居ない高齢化とも言える状況となりました。

近年、若い子育て世代が多く越してこられ、子どもたちの顔が多く見られるようになってきました。(小学生約68人、就業前の子たちも大勢います)

しかし、以前のように町会の小運動会が開催できるような普段の付き合いはまだ戻ってきていません。

このような中で、土佐堀で阪神淡路を上回る震災に見舞われたとき、疎縁となっている町会員同士で、肝心の初動の安否確認が出来るのかどうか不安でなりません。

本町会では、20年程前から小運動会を復活させようと、要となる新しく住まわれる子育て中の家族との付き合いを起こしたいとの思いから、盆踊りの飲食券の無料配布や町会バス旅行などいろいろな取り組みをして参りましたが、なかなか功を奏するまでには至っていません。

そこで、平成26年から始めました「越中橋から見るお月見の会」で町会員同士の付き合いを起こしたいと企画しており、今年も行いたいと考えております。行く行くは小運動会復活を目指したいと考えています。本年は、コロナ禍での我慢を由として過ごされている町会員の方々に、疲れ気味の気持ちが少しでも癒やされれば幸いと思っています。

越中橋は、住友病院などに行く時の安全な道でよく利用されているのですが、両岸が階段となっている人専用橋だからなのか誰も清掃しないためゴミが散らかっていたので、本町会の有志数人が27年ほど前から不定期ですが清掃してきている愛着のある橋です。

橋の上からは川幅がある分障害物も無いので、以前から、月見や月蝕の時などは夕涼みもかねて利用されています。次代の子たちにもここに越中橋があって、ここから見るお月さんがきれいで風流だなあと思って欲しいと強く感じています。

「越中橋から見るお月見の会」の企画

1. 開催趣旨

- ① 子育て世帯の町会員との付き合い始めとする催し。
- ② 越中橋の清掃活動に興味をもってもらい、参加のきっかけをつくる
- ③ 子たちに季節の風情を味わってもらい、何よりもうれしそうな顔を見たい。
- ④ コロナ禍の風潮を一新し、普段の元気を取り戻す。

2. 日時

令和4年9月10日(土) 20時00分より

3. 場所

越中橋南詰め袂と越中橋の上

4. 内容

- ① 月見に来られた人から順に越中橋で月見を楽しむ
- ② 橋のたもとで月見団子を振る舞う